

日本野鳥の会郡山支部

郡山市の鳥に指定されている、カッコウの飛来数調査を通し、自然に対する関心を高めようと始めた、本年度のカッコウ調査がまとまりましたのでご報告いたします。

- #### 4. アンケート数

	配布アンケート数	回収アンケート数	前年度回収数
小学校	(62 校) 5065 枚	(50 校) 1743 枚	(54 校) 1953 枚
中学校	(29 校) 2760 枚	(21 校) 1010 枚	(26 校) 1729 枚
会員・一般	800 枚	684 枚	556 枚
計	8625 枚	3437 枚	4238 枚

	2017 年度		(前年度)	
回収アンケートの内有効なもの	3248 枚	94. 5%	4185 枚	98. 7%
調査時間内に聴いた	258	7. 9%	251	6%
調査時間外では聴いた	1113	34. 3%	1455	34. 8%

- イ 郡部 . . . 1/200000 郡山全図

郊外部 // 500m の円

これらの円を描くにあたっては、1つの円に出来るだけ多くの●点を含み、描いた円同士が交叉しないで、尚且つ描く円の数が出来ただけ少なくなるように作図する。

こうして描かれた円内には、最低1羽の雄のカッコウがいるものと推測でき、そのエリア内で縄張り宣言し、雌への求愛をおこない繁殖が行われているものと考えられる。そして地図上の円1つには、1つがい（2羽）のカッコウが生息しているとみなし、生息数を推定した。

8. 2017年度のカッコウの生息数（末尾資料地図参照）

ア市街地

$$\text{円の数 (72)} \times 2 = 144 \text{羽}$$

前年度 (75) 150羽

イ郡部

円の数 (18) × 2 = 36羽		
前年度	(14)	28羽

合計 180羽
(前年度 178羽)

9. 本年度の結果について

20年以上に亘って続けてきたこの調査で、カッコウの飛来数はほぼ安定していると考えられたことで、アンケート数（統計処理の母数）を少なくしてもその傾向はつかめるのではないかという判断から、2014年度から調査対象校を小学校、中学校に絞り実施しております。

○分布 円の数

ア市街地	円の数	前年度	イ郡部	円の数	前年度
阿武隈川の東側	11	15	阿武隈川の東	6	2
高速道西側	5	5	熱海地区	2	1
逢瀬川北側	23	20	多田野・三穂田地区	7	8
笹原川南	7	5	湖南地区	3	3
市の中心部	4	4	計	18	14
大槻・安積町	22	26	合 計	90	89
計	72	75			

○推定個体数は同じ方法で調査した昨年度と比べ、全体で2羽（円の数で1）増加している程度で昨年とほぼ変わりがない。上の表の塗りつぶした地域、いずれも市の周辺部分で増加している。

○調査時間（6月10日7:00～7:05）内に聞いたという確認率は増加し、調査時間外には聞いたという割合は昨年とほぼ同等でした。（資料グラフ参照）

次ページのグラフ全体を通して見た傾向は、飛来するカッコウの個体数には大きな変化はないと判断すべきものと思われる。

○郡部では市街地に比べ児童生徒の数が少なく、数字に反映されていない可能性も考えられる。

○この調査を通じて、会員はもとより調査に協力してくれた児童生徒、さらに一般市民の方々も、カッコウやツバメに目を向けることで身のまわりの自然への関心を高めていると思われる。（資料のアンケートに寄せられたコメント参照）

○毎年の事です、今年度も、アンケート用紙の不足分を校内で増刷りいただく等、積極的に調査に協力下さり感謝申し上げます。

特に郡山市役所生活環境課では、課内で積極的な取り組みをいただき、組織を生かした広範囲のデータを提供していただきました。

10、ツバメの営巣調査について（おまけの調査）

		2017 年度		前年度	
今年ツバメを見ましたか？	見た	2492 名	76. 7%	3128 名	74. 7%
近くに巣がありますか？	ある	1491	45. 9%	1839	43. 9%
そのうちツバメが出入りしている巣		1301	43. 9%	1571	37. 5%

ツバメが出入りしていると回答のあった1301名の方々の場所を地図に「ツバメ営巣調査」として、資料を末尾に添付しました。

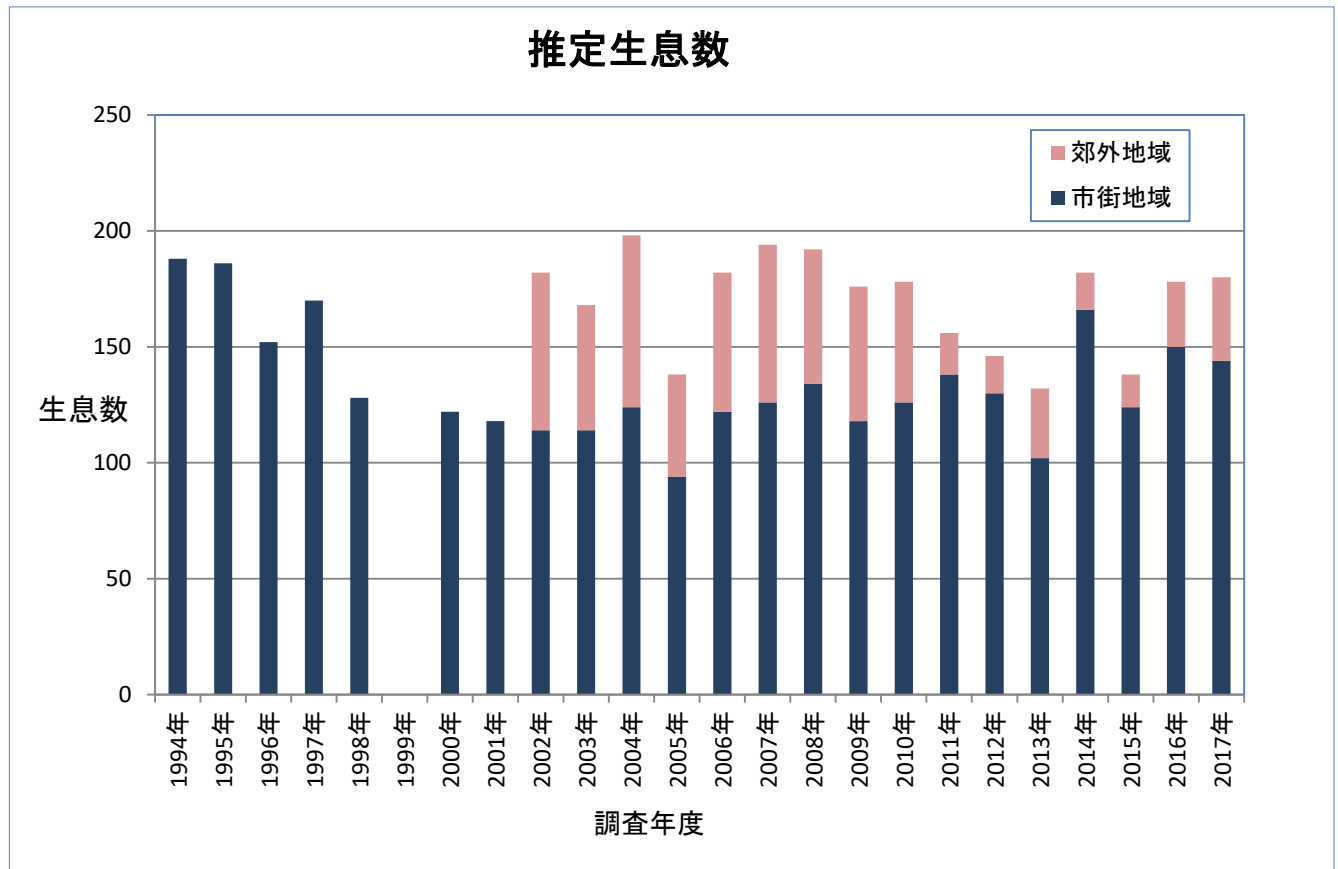
地図上の点1つが、巣1つを示す訳ではなく、同じ巣を多くの観察者がアンケートに回答されていることも考えられますが、カッコウの分布と異なり、市の中心部も含めて全域に分布しており、ツバメの繁殖が街中でも広く行われていることがわかります。

ツバメはカラスや蛇などの天敵から身を守るため、学校や公共施設、商店、人家など、人の暮らしに頼って営巣する場所を決めていることによるものと考えられます。

この調査に関係された皆様に心から感謝申し上げます。

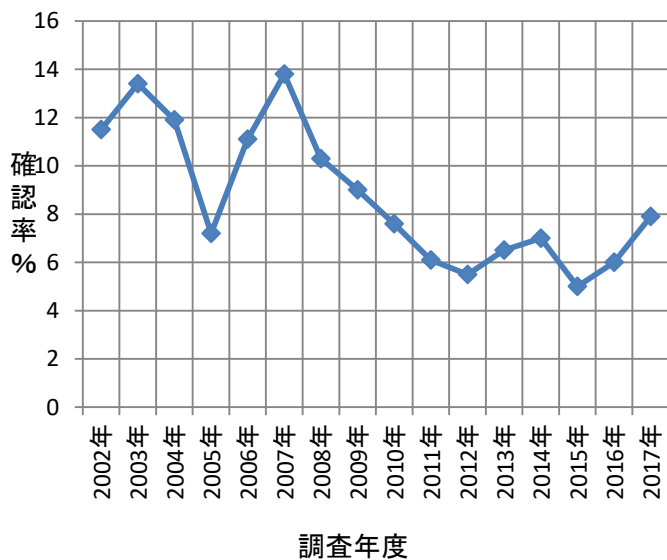
日本野鳥の会郡山支部 調査研究部

カッコウ飛来数の変化



カッコウの鳴き声の確認率

調査時間中(5分間)に聞いた



調査時間以外に聞いた

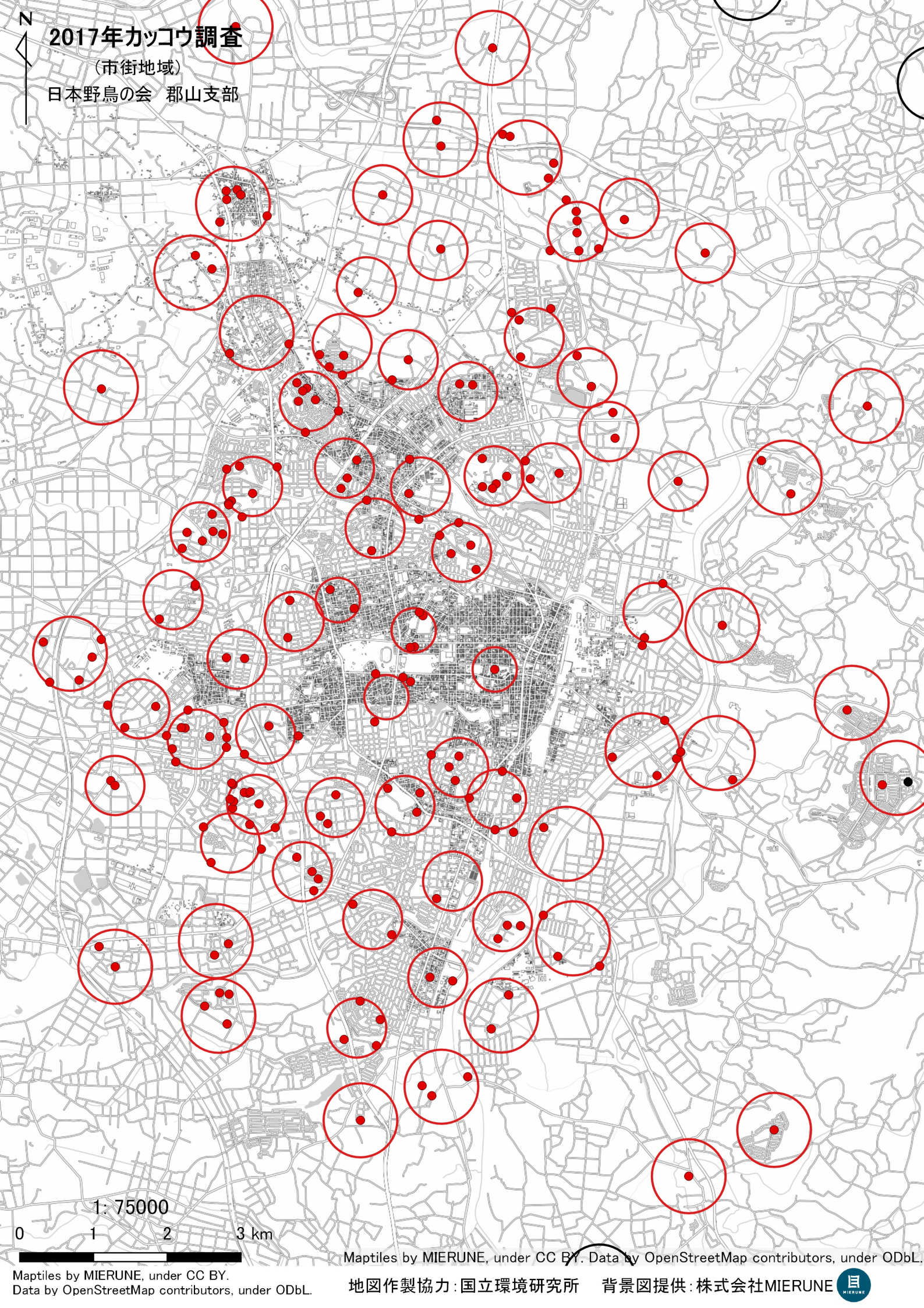




2017年カッコウ調査

(市街地域)

日本野鳥の会 郡山支部



1: 75000

0 1 2 3 km

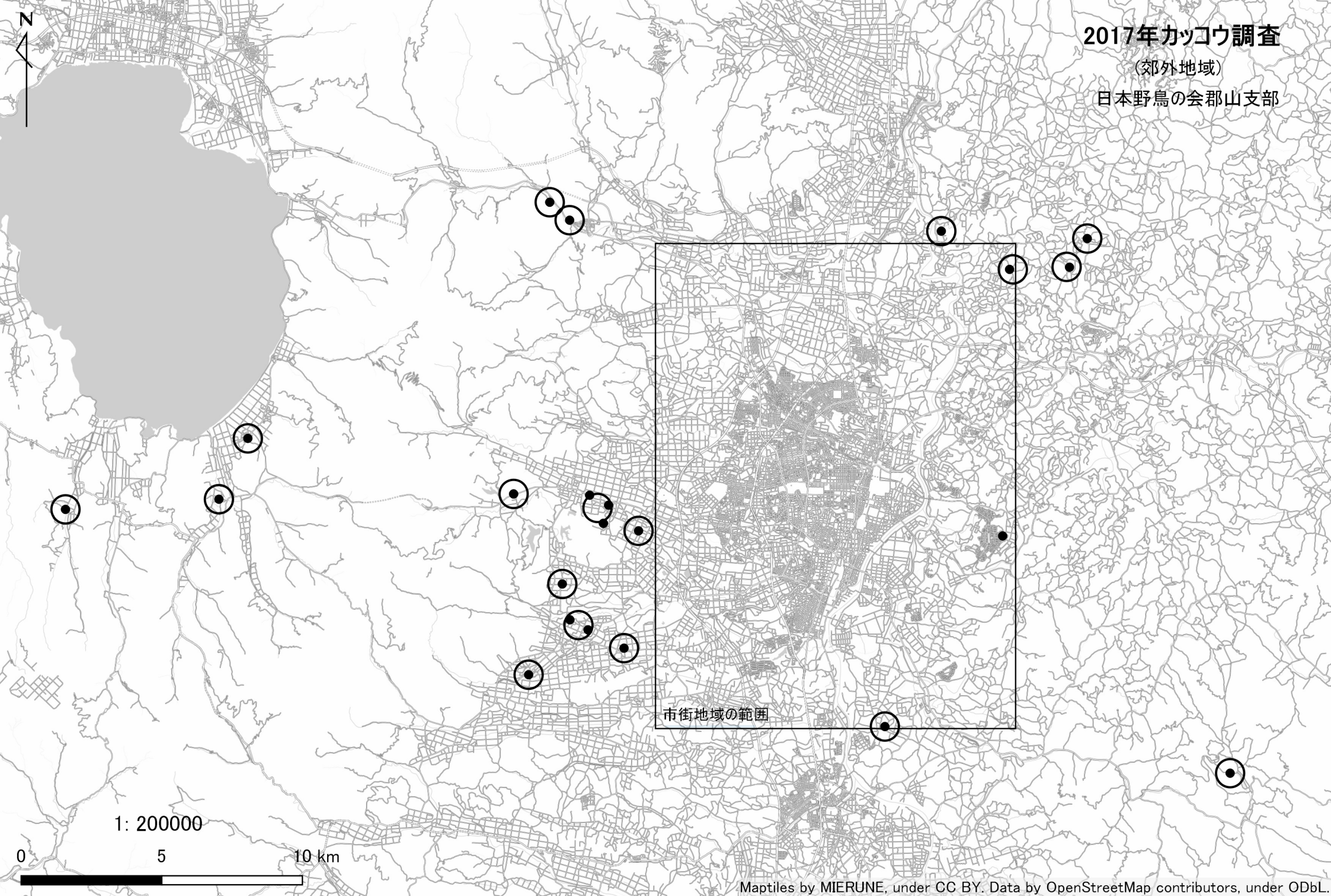
Maptiles by MIERUNE, under CC BY. Data by OpenStreetMap contributors, under ODbL.

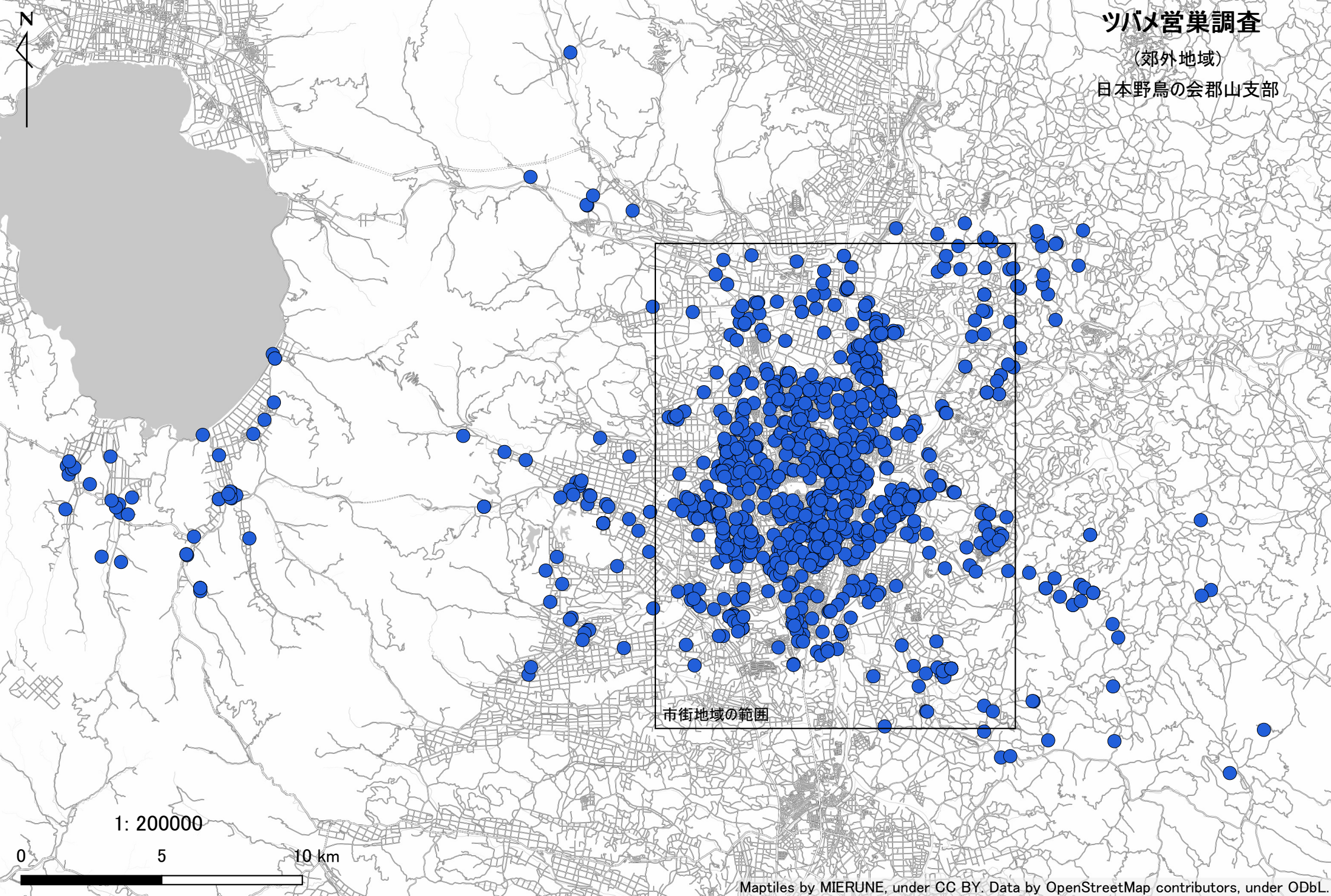
Maptiles by MIERUNE, under CC BY.
Data by OpenStreetMap contributors, under ODbL.

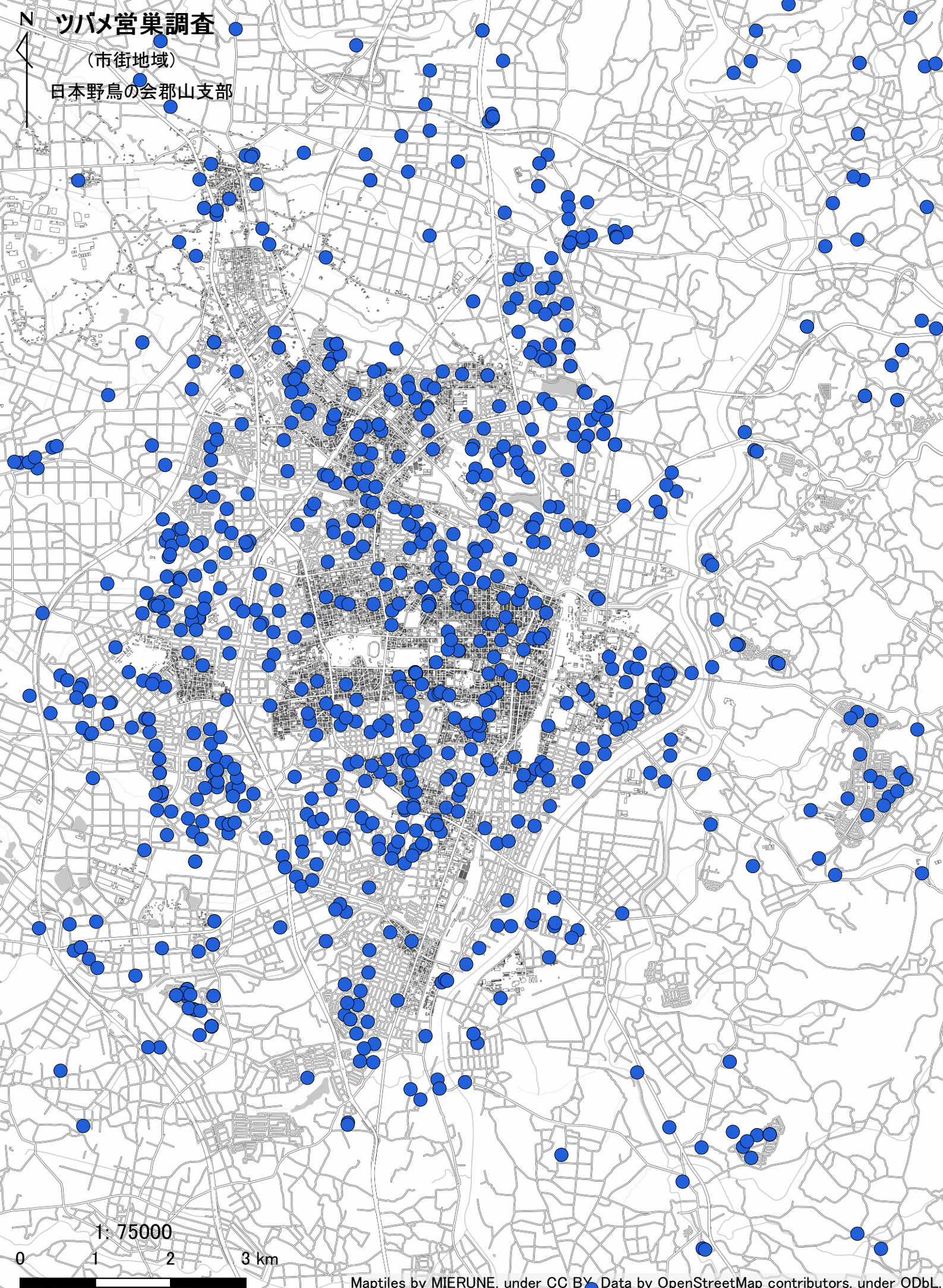
地図作製協力: 国立環境研究所

背景図提供: 株式会社 MIERUNE









ツバメ営巣調査

(市街地域)

日本野鳥の会郡山支部

1: 75000

0 1 2 3 km

Maptiles by MIERUNE, under CC BY. Data by OpenStreetMap contributors, under ODbL.

Maptiles by MIERUNE, under CC BY.
Data by OpenStreetMap contributors, under ODbL.

地図作製協力: 国立環境研究所 背景図提供: 株式会社MIERUNE



コメント（抜粋）

〔カッコウ〕

1. 今年のカッコウの初聞は 5/30 朝 6 時頃でした。（大槻町下西田）
2. 前日の 6:00（夜）に聞いた。
3. カッコウは今年 5 月頃盛んになっていました。五月中頃よりぴたっと鳴き声を聞かなくなりました。
4. 毎年我が家近辺まで出張して来て TV アンテナの上でユーモラスなカッコウでさえずってくれています。今年は阿武隈川の方から鳴き声が聞こえるだけで、居ながらにしてのカッコウ探鳥（？）は出来ませんでした。今日（6 月 29 日）AM8:30 川の方から聞こえてきました。
5. 5 月末から 6 月第 1 週は毎日のように聞いていました。
6. 前日までよく鳴いていたのに今日は全然聞こえなかった。今朝はいつもより気温が上がっていたような気がする。涼しい時でないと鳴かないのではないか。
7. 5 月 13 日初めて聞きました。その後 1 週間くらいは毎日聞いていました。
8. 初めて聴いた日 自宅にて 5 月 15 日 AM11:15 毎日鳴いています。
9. 最近自宅の付近（久留米 5 丁目）ではカッコウの鳴き声をあまり聞きません。
10. 今年のカッコウは元気がない。
11. 鳴かない（聞かない）日もある。去年までと違和感あり
12. おまけのカッコウさん
6 月 3 日 AM9:00 初鳴き
6 月 6 日 AM4:25 鳴き声で起こされた
6 月 10 日 AM5:05 鳴き声で目覚め
13. 今年は 5 月 21 日にはじめてカッコウの鳴き声を聞き、29 日に民家のアンテナに止まっている姿が見られました。次の日にホトトギスが南側溪谷を鳴きながら渡っていきました。カッコウとホトトギスは住みわけをしているという話を聞いたことがあるので珍しい？のかな
14. 富田町下西田
5 月 11 日 6:14 カッコウ 初認、
5 月 31 日 6:13 カッコウ 鳴き声（カッコウカッコウ・ピピピピピピ）や動きが活発 モズの攻撃を受ける。14:00 カッコウ 追いかけてこ
15. カッコウの鳴き声は 5 月頃よく聞いていた。大槻町字宮ノ前付近
16. 6 月 10 日ではなく、5 月中旬頃まで聞こえていた。

〔ツバメ〕

1. ツバメの巣に今年はツバメが出入りしていない。（郡山市賀庄）
2. 6 月 7 日水道局前パソコン教室玄関ヒナ 5 羽確認。親鳥エサ運んでいる。
3. 5 匹のヒナが電線にとまっていて親鳥がエサを運んでいた。
4. 4 月 16 日岩瀬書店富久山店前でいくつかの巣と幼鳥を確認。
5. 最近カラスが増えているように見える。先日も自宅近くでスズメが集団で飛んでいる中にカラスが入り空中でスズメをくわえてエサにしているのを見かけた。最近、つばめの数が減少しているのは天候の変化もあるだろうが、ツバメもカラスに追われて、民家近くに巣を作ることができないのではないか。